

第3学年 社会科学学習指導案

2組 計32人 (男子14人 女子18人)

指導者 阿部 大亮

1 小単元 店ではたく人

2 小単元の目標

地域の人々の販売に関する仕事の様子に関心をもち、それらを見学したり資料を活用したりして調べることができる。また、調べたことを基に考え、表現することで、これらの仕事が自分たちの生活を支えていることや仕事の特色と国内外の地域とのかかわりについて理解することができる。

3 小単元の評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	観察・資料活用 の技能	社会的事象について の知識・理解
地域の人々の販売の仕様の様子に関心をもち、意欲的に調べようとするとともに、販売の仕事と自分たちの生活とのかかわりを考えようとしている。	地域の人々の販売の仕様の様子について、学習問題を設定し、予想を基に追究の観点や計画を立てるとともに、販売の仕事の工夫を消費者の願いと関連付けて考え、適切に表現している。	追究の観点に基づいて見学したり資料を活用したりして、地域の人々の販売の仕様の様子について必要な情報を集めて読み取るとともに、調べたことを絵地図やノートなどにまとめている。	地域の人々の販売に関する仕事の工夫や、それらが自分たちの生活を支えていること、また、それらの仕事に見られる特色や他地域とのかかわりを理解している。

4 小単元について

(1) 小単元の位置とねらい

子どもたちは、これまでに、生活科の学習や1学期の「校区の様子」の学習で、地域の店の様子や地域の販売に関わっている人々の様子を捉えてきている。これらの学習を通して、子どもたちは、販売に関する仕事に関心をもち始めてきている。そして、実際に見学して詳しく調べたり、調べたことを絵や文でまとめて表現したりしたいという意欲が高まってきている。

そこで、本単元では、まず、よく利用する店とその店に行く理由を調べ、調べてきた内容について話し合い、地域には色々な店があり、その店で様々な仕事をしている人々がいることを捉えさせていく。そして、よく買い物をする店の中で、一番利用の多いスーパーマーケットに着目させ、中心となる学習問題「なぜ、スーパーマーケットを利用する人が多いのだろうか。」を設定する。それから、予想を話し合うことで、追究の観点や追究計画を立てることができるようにする。次に、追究の観点に基づき、見学したり、資料を活用したりし、追究した内容を絵や文でまとめるようにする。そして、消費者の願いとスーパーマーケットで働く人々の仕事の工夫を比較しながら考えたことを表現させる。それによって消費者の願いとスーパーマーケットで働く人々の仕事の工夫が深く結び付いていることを捉えさせる。そして、学習したことを生かして形態や規模が異なる様々な店のそれぞれの特色を考える活動を行う。最後に、学習内容の理解を深めるために、自分が店長になったらどんな店をつくるのか考え、交流させることで販売に関わる人々は消費者の願いに応えたり、売り上げを得たりするために、様々な工夫を行っていることについて捉えさせていく。このような学習に取り組ませることで「地域の人々の販売」に対する社会的な見方や考え方を成長させることができるようにする。

(2) 子どもの実態 (調査日 平成25年9月10日、調査人数32名)

本単元の内容に関わる子どもの実態については以下のとおりである。(数字は人数)

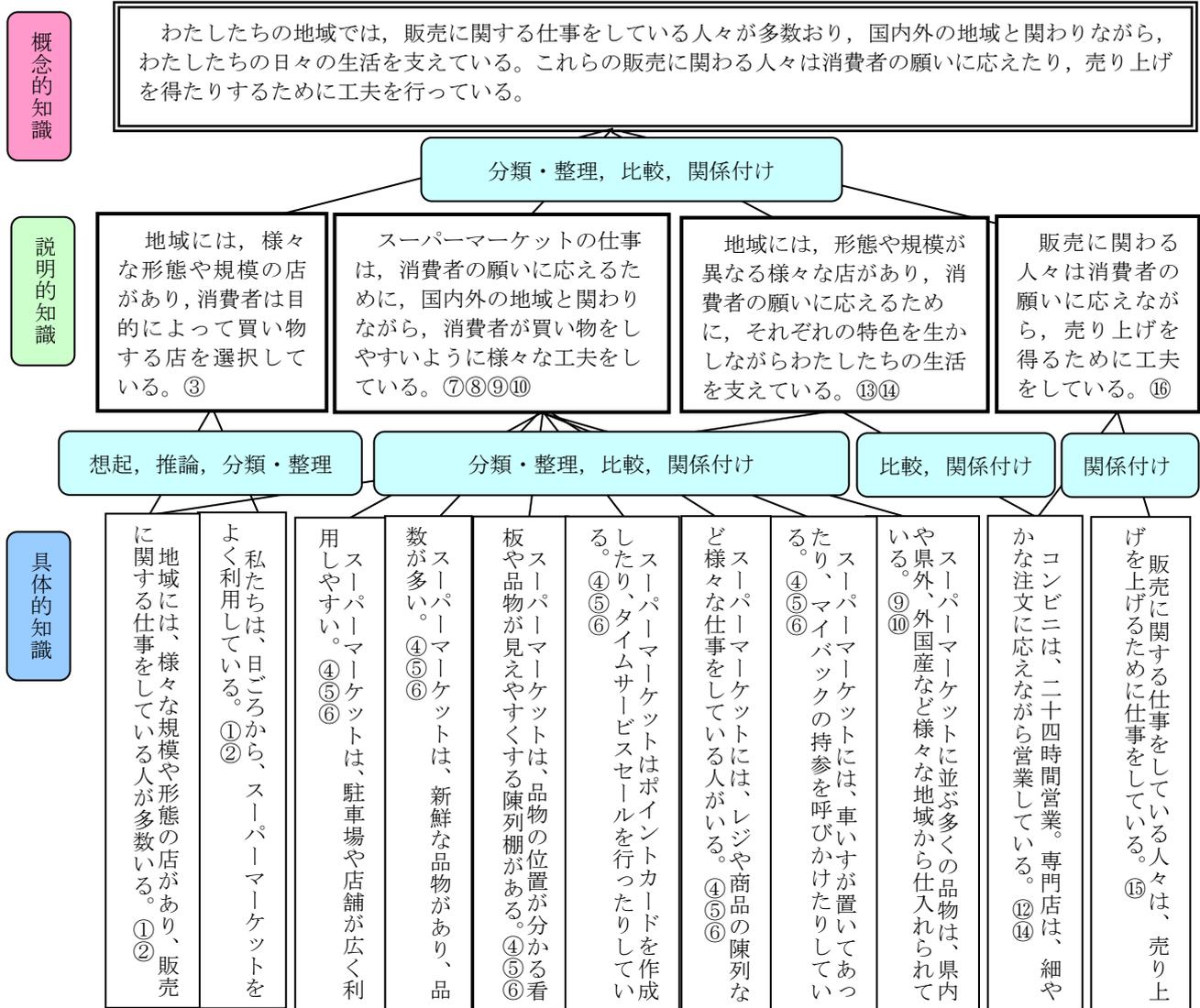
【調査①】あなたの家でよく買い物に行く場所はどこですか。(複数回答)
スーパーマーケット(24)、デパート(14)、コンビニエンスストア(11)、ドラッグストア(4) 天文館アーケード(3)
【調査②】どうしてそのお店に買い物に行くのでしょうか。(複数回答)
品数が多い(14)、近い(12)、安い(11)、新鮮(6)、美味しいものがある(4)、広い(1)
【調査③】お店は、お客さんに来てもらうためにどんな工夫をしているのでしょうか。(複数回答)
安く売る(29)、曜日や時間で割引(13)、チラシの配布(3)、品数を増やす(3)、新鮮な物を売る(3) レジを増やす・店を広くする・おすすめ商品の看板やチラシを準備する・試食させるなど(1)

本学級の子どもたちは、スーパーマーケット、コンビニエンスストアやデパートなどを主に利用している。また、家族との買い物の経験から、店舗を選ぶ消費者側のニーズや販売者側の工夫についてもある程度把握している。しかし、店で働く人が具体的にどんな仕事をしているかについて把握している子どもは少ない。

(3) 小単元で成長させたい子どもの社会的な見方や考え方

レベル1	地域には、色々な店があり、商品を販売するために多くの人々が働いている。
レベル2	地域の店は、消費者の願いに応えるために、国内外の地域と関わりながら、様々な工夫をしている。
レベル3	地域の店は、消費者の願いに応えたり、売り上げを得たりするために、それぞれの店の特色を生かした工夫を行っており、これらによって、わたしたちの生活を支えられている。

(4) 小単元の知識の構造分析 (全16時間) ※○付きの数字は、学習する時間



5 指導に当たって

(1) 「思考活動」を充実させる単元構想

本単元では、地域の人々の販売について、子どもたちが問いを連続させながら問題解決的に学習内容を身に付けることができるようにする。そこで、学習問題「家の人は、どの店でよく買い物しているのだろうか。」を解決することで、中心となる学習問題「なぜ、スーパーマーケットを利用する人が多いのだろうか。」を設定する。さらに、中心となる学習問題を解決することで新たな学習問題「なぜ、コンビニや専門店を利用する人がいるのだろうか。」を設定し、解決していく。最後に、学習したことを生かして、「自分が店長になったらどんな店をつくるのか」考え、交流することで学習内容の理解を深めていく。このように学習問題を連続・発展させ「思考活動」の充実を図ることができるような単元を構想した。

(2) 「思考活動」を充実させる他者との交流とICT活用

「つかむ」過程では、よく利用する店を想起し、よく利用する店の数をまとめたグラフを作成する。そして、プレゼンテーションソフトの機能を生かしながらグラフの結果を順に提示し、その様子を比較しながら、気付いたことや疑問に思ったことを交流することで、中心となる学習問題をつかむことができるようにする。また、学習問題に対する予想を推論し、それらを分類・整理しながら考えを交流することで、追究の観点や追究計画を立てることができるようにする。

「調べる」・「まとめる」過程では、追究の観点や計画に沿って、見学したり、資料を活用したりし、分かったことを分類・整理しながら絵と言葉でまとめさせていく。見学の際は、携帯性に優れたタブレットPCを活用してスーパーマーケットの工夫の画像や映像を撮影するようにする。そして、まとめた内容を基に、スーパーマーケットの工夫と消費者の願いを比較したり、関係付けたりしながら気付いたことを交流することで、中心となる学習問題のまとめを行うようにする。

「広げる・深める」過程では、コンビニや専門店の工夫を調べ、スーパーマーケットの工夫と比較する。その際、書画カメラを活用し、その関係性を交流させることで、コンビニや専門店は特色を生かした工夫で販売を行っていることを捉えることができるようにする。さらに、自分が店長になったらどんな店をつくるのか考え、それらを交流することで、販売に関わる人々は消費者の願いに応えたり、売り上げを得たりするために、いろいろな工夫をしていることも捉えることができるようにする。

(3) 「思考活動」を充実させる「評価資料」の工夫

単元の学習を通して、どのような概念的な知識を子どもたちが習得すればよいのかを明確にした評価資料を作成することで、単元を通して、指導方法の工夫や個に応じた指導の充実を図ることができるようにする。

6 指導・評価計画 (全16時間) は重点評価項目び評価方法 ◎中心となる「思考活動」

過程	学習問題 子どもの意識	主な学習活動 学習のまとめ	◎ 教師の指導 ◆社会的な見方・考え方のレベル
つかむ ③	<p>地域にある店について話し合おう。①</p> <p>家の人は、どんな店でよく買い物をしているのだろうか。【学習問題】</p> <p>調べたことを基に話し合い、中心となる学習問題を設定する。②</p> <p>店の中では、スーパーマーケットを利用する人が多い。【学習問題のまとめ】</p> <p>立てよう。③</p> <p>たくさんの品物があるよ。タイムサービスもやっているからかな。</p> <p>に行こう。④⑤⑥</p> <p>か確かめてみよう。インタビューもしたいな。</p>	<p>1 地域にある店を紹介し、家の人がどの店を利用しているのか調べる。</p> <p>2 地域にある店を利用する人が多いのだろうか。【中心となる学習問題】</p> <p>学習問題を設定する。</p> <p>3 学習問題について予想し、追究の観点や追究計画を話し合う。 【追究の観点 (調べる内容)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 品揃え ○ 商品の置き方 ○ 価格 ○ 商品の安全・信頼 ○ 環境や福祉に関する取組 ○ ポイントカードなどの工夫 ○ 働いている人 <p>【追究計画 (調べる方法と計画)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 見学 (店), インタビュー 	<p>◎ 教師の指導</p> <p>◆社会的な見方・考え方のレベル</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 家の人がよく利用する店の数をグラフにまとめさせることで、その特徴を捉えやすくする。 ◎想起、分類・整理 ○ よく利用する店の数について話し合い、スーパーマーケットを利用する人の多さに着目させることで、中心となる学習問題を設定することができるようにする。 ◎比較 スーパーマーケットを利用する人の多さに関心を持ち、進んで調べようとしている。【関心・意欲・態度：行動観察】 ○ 学習問題の予想を分類・整理することで、追究の観点を設定することができるようにする。 ◎想起、推論、分類・整理 予想や、追究の観点や計画を考え、表現している。 【思考・判断・表現：発言・ノート】 <p>◆レベル1</p>
調べる・確かめる ⑦	<p>スーパーマーケット見学で発見したことを整理し、発表しよう。⑦⑧</p> <p>スーパーマーケットの品</p> <p>スーパーマーケットは様々な工夫をされていて、それは、お客さんの願いとつながっていたぞ。</p>	<p>4 スーパーマーケットに見学に行き、どのような工夫をしているのか調べる。</p> <p>5 スーパーマーケットを見学して発見したことを整理する。</p> <p>6 スーパーマーケットを見学して発見した内容を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 発表したスーパーマーケットの工夫とお客さんの願いを比べ、それぞれの関係性について話し合う。 <p>7 スーパーマーケットの品物がどこから届いたのか調べる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 追究の観点を基に見学することで、販売の工夫を整理しながら調べることができるようにする。 調べてきた内容を追究の観点を基に分類・整理してまとめている。 【観察・資料活用の技能：見学メモ】 ◎比較、関係付け ○ お店の工夫と消費者の願いを分類・整理し、並べて板書することで、両者を比較しながら、その結び付きを捉えることができるようにする。 ○ 調べたことを地図にまとめることで、他地域とのつながりを捉えることができるようにする。 <p>◎分類・整理、関係付け ◆レベル2</p>
まとめる ①	<p>コンビニや専門店は何ぞあるのか話し合う。⑨⑩⑪</p> <p>コンビニや専門店は、それぞれの特色を出して、お客さんと呼んでいるぞ。</p> <p>コンビニや専門店は、消費者の願いに応えるために、スーパーマーケットと同じような工夫に加えて、特色を生かした工夫も行っているのだ。【新たな学習のまとめ】</p>	<p>8 調べて分かったことを基に学習問題のまとめをする。</p> <p>9 コンビニや専門店の必要性について話し合い、新たな学習問題を設定する。</p> <p>ながら話し合う。</p>	<p>販売者は、消費者の願いに応えるために様々な工夫をしていることを理解している。【知識・理解：ノート】</p> <p>◎分類・整理、関係付け ◆レベル2</p>
(本時13/16) 広げる・深める ④	<p>自分が店長なら、どのような店をつくりませんか。⑫⑬</p> <p>安売りばかりしていると売り上げがなくなるな。どんな工夫をしようかな。</p>	<p>11 学習した内容を生かして自分が店長になったら、どこに、どのような店をつくるのか考え、地域の店に提案する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 売り上げがあり、消費者の願いに応えることができるような店について考え、交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ スーパーマーケットの工夫を基に、コンビニや専門店の工夫を並べて板書し、比較することで、それぞれの店の工夫の共通点と差異点に気付き、交流することができるようにする。 形態や規模が違う店それぞれの工夫を比較し考えを、表現している。 【思考・判断・表現：ノート】 ◎分類・整理、比較、関係付け ○ 自分が店長になったら、どのように店をつくるのか考え、交流することで、販売者は、消費者の願いに応えながらも利益を生み出す必要があることを理解することができるようにする。 ◎関係付け ◆レベル3

7 本 時 (13 / 16)

(1) 目 標 コンビニが特色を生かして、消費者の願いに応えていることを捉えることができるように、コンビニの工夫とスーパーマーケットの工夫を比較し、関係付けながら自分の考えを表現することができる。

(2) 「思考活動」を充実させる他者との交流

○ コンビニの工夫とスーパーマーケットの工夫を比較して工夫の共通点・差異点を考え、それらを交流する。また、なぜコンビニが特色を生かした工夫を行っているのか消費者の願いと関係付けながら考え、それらを交流する。

(3) 展 開 □ は教師の言葉掛け □□ は予想される子どもの反応 □□□ は重点評価項目 ◎は「思考活動」 ☆はICT活用の留意点

過程(分)	主 な 学 習 活 動 と 予 想 さ れ る 子 ど も の 反 応	教 師 の 指 導																				
つ か む (5)	<p>1 これまでの学習を振り返り、学習問題を確認する。</p> <p>なぜ、スーパーマーケットがあるのに、コンビニを利用する人がいるのだろうか。</p> <p>2 前時の学習を想起する。</p> <p>コンビニに行って、様々な工夫を見つけてきたよ。</p> <p>3 調べたことを発表し、スーパーマーケットの工夫とコンビニの工夫を比較し、その共通点や差異点について話し合う。◎比較、関係付け</p> <p>コンビニとスーパーマーケットの工夫を比べて違う工夫、同じ工夫はないかな。</p> <p>24時間営業は、コンビニだけだよ。</p> <p>商品の置き方の工夫は同じ工夫だな。</p> <div data-bbox="224 742 1388 1165"> <p>工夫の共通点</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>品揃え</td> <td>安売り・値引き</td> <td>商品の安心・安全</td> <td>商品の置き方</td> </tr> <tr> <td>スーパーマーケットの工夫</td> <td>30000品</td> <td>タイムサービス</td> <td>生産者の写真</td> <td>コーナーの看板</td> </tr> <tr> <td>コンビニの工夫</td> <td>2500品</td> <td>値引きした商品</td> <td>廃棄処分</td> <td>種類別に並べる</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">消費者の願いに応えるため</p> <p style="text-align: center;">↑</p> <p>工夫の差異点</p> <table border="1"> <tr> <td>コンビニの工夫</td> <td>ATMがある</td> <td>24時間営業</td> <td>挽き立てコーヒー</td> <td>チケットが取れる</td> </tr> </table> </div>		品揃え	安売り・値引き	商品の安心・安全	商品の置き方	スーパーマーケットの工夫	30000品	タイムサービス	生産者の写真	コーナーの看板	コンビニの工夫	2500品	値引きした商品	廃棄処分	種類別に並べる	コンビニの工夫	ATMがある	24時間営業	挽き立てコーヒー	チケットが取れる	<p>○ 前時までの学習を話し合うことで、本時の学習問題を確認したり、コンビニ見学の内容を想起したりすることができるようにする。</p> <p>☆ 調べてきた内容をICTを活用して提示することで、画像を拡大したり、書き込んだりしながら分かりやすく発表することができるようにする。</p> <p>☆ 子どもたちが調べてきた内容を補足することができるような資料を提示することで、学習内容の理解を促すことができるようにする。</p> <p>○ スーパーマーケットの工夫とコンビニの工夫を左右に分けて板書することで、それぞれの工夫の共通点や差異点に気付くことができるようにする。</p> <p>☆ ICTを活用することで、スーパーマーケットの工夫とコンビニの工夫の共通点や差異点をグループで操作しながら考え、表現することができるようにする。</p> <p>☆ コンビニだけの工夫の中で、特に利用する人の大きな要因になっている工夫を選択し、画像を提示しながら発表させることで、コンビニだけの工夫を行っている理由を消費者の願いと関係付けながら表現することができるようにする。</p>
	品揃え	安売り・値引き	商品の安心・安全	商品の置き方																		
スーパーマーケットの工夫	30000品	タイムサービス	生産者の写真	コーナーの看板																		
コンビニの工夫	2500品	値引きした商品	廃棄処分	種類別に並べる																		
コンビニの工夫	ATMがある	24時間営業	挽き立てコーヒー	チケットが取れる																		
ま と め る (12)	<p>4 コンビニだけの工夫を行っている理由を考え、話し合う。◎関係付け</p> <p>なぜ、コンビニは大変なのに、24時間営業するのか。</p> <p>コンビニが24時間営業するのは、遅くまで仕事をしている人が買い物できるようにするためだと思います。</p> <p>5 話し合ったことをまとめる。</p> <p>コンビニは、消費者の願いに応えるために、スーパーマーケットと同じような工夫に加えて特色を生かした工夫を行っているので利用する人がいる。</p> <p>6 コンビニの工夫についての映像を見る。</p> <p>7 本時の学習を振り返り、次時への見通しをもつ。</p>	<p>コンビニを利用する人がいる理由を考え、表現している。</p> <p>【社会的な思考・判断・表現：ノート】</p> <p>☆ コンビニの工夫についてインタビューした映像を視聴させることで、コンビニの工夫について理解を深めることができるようにする。</p>																				

第3学年社会科「店ではたらく人」における「評価資料」

重点評価項目

地域の人々の販売の仕事の工夫を消費者の願いと関連付けて考え、適切に表現している。

概念的知識（本単元で獲得させたい概念）

わたしたちの地域では、販売に関する仕事をしている人々が多数おり、国内外の地域と関わりながら、わたしたちの日々の生活を支えている。これらの販売に関わる人々は消費者の願いに応えたり、売り上げを得たりするために工夫を行っている。

評価の観点（本単元で獲得させたい説明的知識）

ア 地域には、わたしたちの生活を支えている店があり、消費者は目的によって買い物する店を選択している。 【3/16】 【分類・整理】	イ スーパーマーケットの仕事は、消費者の願いに応えるために、国内外の地域との関わりながら、消費者が買い物しやすいように様々な工夫をしている。 【7・8・9・10/16】 【比較、関係付け】	ウ 地域には、形態や規模が異なる様々な店があり、消費者の願いに応えるために、それぞれの特色を生かしながらわたしたちの生活を支えている。 【13・14/16】 【比較、関係付け】	エ 販売に関わる人々は消費者の願いに応えながら、売り上げを得るために工夫をしている。 【16/16】 【関係付け】
---	--	--	---

評価方法：観察・ワークシートの記述を基に評価する。

十分満足できる（A）	おおむね満足できる（B）	努力を要する（C）
ア・イ・ウ・エ の内容を満たす表現	ア・イ の内容を満たす表現	ア の内容を満たす表現

表現（記述）例

<u>地域には、色々な店があり、様々な地域から品物を取り寄せながら、お客様の願いに応えたり、売り上げを得たりするために、それぞれの店ならではの工夫を行っている。このことによって、わたしたちの生活は支えられている。</u>	<u>地域には、色々な店があり、お客様の願いに応えるために様々な地域から品物を取り寄せながら品揃えを増やしている。また、新鮮な品物を準備したり、値引きをしたりなどの工夫を行っている。</u>	<u>地域には、色々な店があり、多くの人々が働いている。買い物をするときには、買う物によって、行く店を選んでいく。</u>
--	---	---

評価を生かした指導

〈Bの学習状況の子どもに対して〉 ○ 店の工夫を考え、売り上げを上げないと店が営業できないことなどを話し合うことで、様々な店はお客さんの願いに全て応えることができないことを捉えることができるようにする。	〈Cの学習状況の子どもに対して〉 ○ ノートや見学メモを想起することで、店で働く人々は、お客さんに来てもらうために様々な工夫を行っていること、その工夫はお客さんの願いと結び付いていることを捉えることができるようにする。 ○ 地域には、様々な店があり、それらの店がある必要性を考慮することで、地域の様々な店に自分たちの生活が支えられていることを捉えることができるようにする。
--	--